

平成16年8月10日

各位

熊本県上益城郡益城町田原 1155-5
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 是石 匡宏
(コード番号 2342 東証マザーズ)
(連絡先) 経営企画室 鍛崎 暁子
電話番号 092-736-8010

住友化学・住友製薬との 新規創薬標的遺伝子に関する特許の共同出願について

株式会社トランスジェニック(本社:熊本県上益城郡益城町、代表取締役社長:是石匡宏)は、平成16年8月10日、住友化学工業株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:米倉弘昌)および住友製薬株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:岡本康男)と新規創薬標的遺伝子に関する特許を共同出願いたしましたのでお知らせします。

当社は主力事業であります遺伝子破壊マウス事業において、平成13年12月に住友化学工業株式会社および山之内製薬株式会社と、遺伝子破壊マウスから得られた遺伝情報を優先的に提供する契約を締結しております。当社は、当該契約に基づき開示した遺伝子配列情報の中から、2社のいずれかが選択した系統については表現型解析情報を提供し、さらに詳細な研究を実施したい系統については継続的使用権を許諾し一定の成果をあげるなど、着実に事業が進展してまいりました。

こうしたなか、住友化学工業株式会社に対して継続的使用権を許諾していた系統の中から、詳細な表現型解析を実施した結果、新規創薬標的遺伝子として有用性が高いと判断されたものが見出され、このたび、住友化学/住友製薬と共同で当該遺伝子に関連する特許を出願することといたしました。今後、関連疾患の治療薬開発に応用されることが期待され、当該共同出願内容に基づいて、将来、医薬品開発を実施される際には、その実施段階に応じたマイルストーンフィーやランニングロイヤリティが当社に支払われることになっております。こうした特許出願は、平成16年6月24日に山之内製薬株式会社との共同出願したものに続き2件目であり、住友化学工業株式会社とは最初の出願になります。

今回の共同出願で、当社の主力ビジネスである遺伝子トラップ法を用いた創薬アプローチ手法が、創薬標的の探索研究に有用であることを確信したとともに、現在契約中の顧客との成果の追求、さらには新規契約の拡大を通じて、顧客への貢献度の高い事業を着実に展開してまいりております。

以上